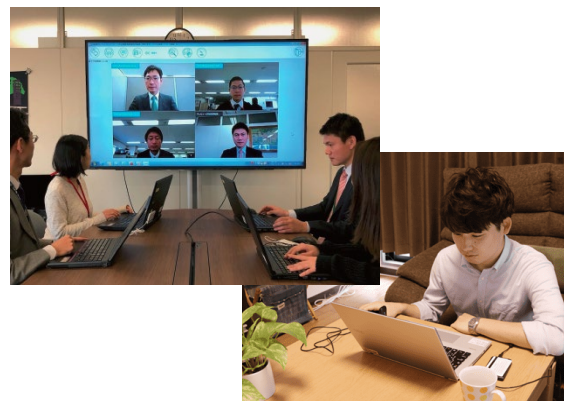
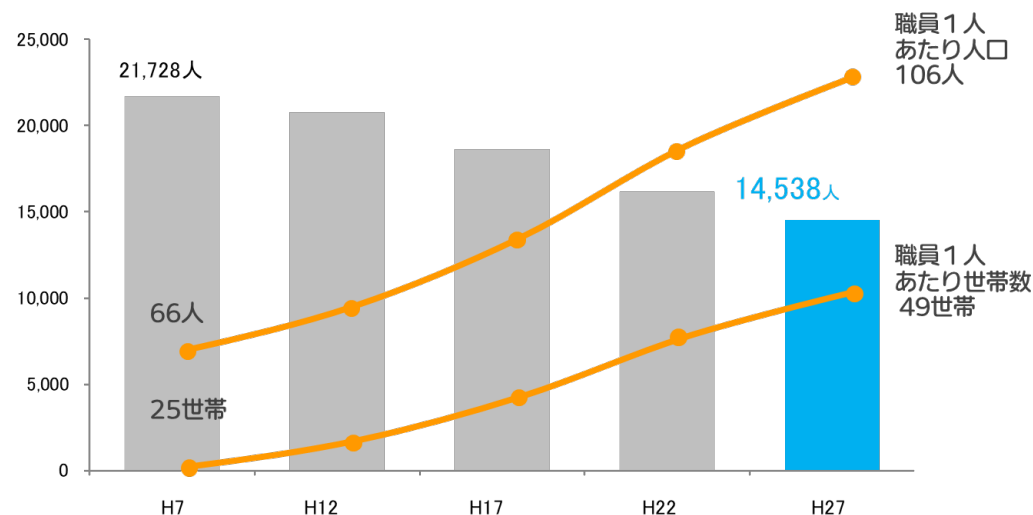


神戸市のデジタル化の取り組み

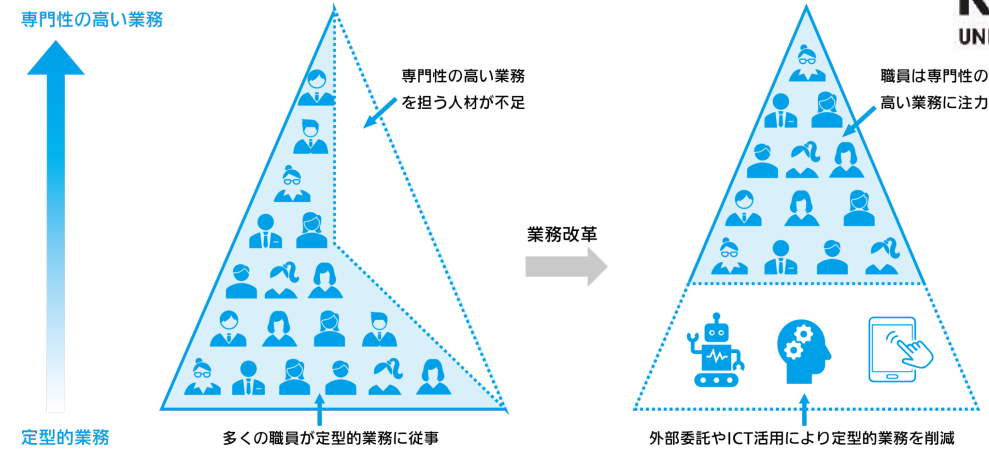
- H 7 ▶ 阪神・淡路大震災
- 8 ▶ 行財政改善緊急3カ年計画（H8～10年度） 以降行革の継続
- 27 ▶ 在宅勤務導入 リモートでの庁内NWアクセス
- 28 ▶ 庁内情報システム最適化計画（H28～R2年度） ホストオープン化、システムコスト抑制、マイナンバー制度導入踏まえたセキュリティ向上
- 29 ▶ 働き方改革推進チーム設置 3か年のロードマップ
フレックスタイム制度・フリーアドレス導入
- 30 ▶ UIKスタート 職員とスタートアップが協働で地域課題をデジタルで解決
- R 1 ▶ GW/Web会議システム導入 デジタルによる業務生産性向上
Be Smart KOBE スマートシティの推進
- 2 ▶ COVID-19 MSとの連携でコロナ感染チャットボット/発生状況データサイト/
給付金申請状況検索サイト/自動音声案内
行財政改革方針2025 Dx推進、デジタル技術とデータの徹底活用
新庁内システム最適化計画（策定中） 標準化/クラウド化対応
- 3 ▶ 神戸市Dx方針（策定中）

● 震災後20年余りで、職員総定数は ▲33% 削減



【神戸市行財政改革方針2025のポイント】

1. 働き方改革（業務改革） BPR、ペーパーレス徹底、テレワーク推奨、公共サービスの多様な担い手確保
2. Dx推進 データによる可視化、行政手続電子化原則
3. 区役所改革 手続デジタル化・非対面相談による来庁者削減
4. 組織風土改革 テクノロジーを取り入れ、果敢にチャレンジする気風、タコツボ化組織からの脱却



【自治体Dx推進の論点に関する神戸市の対応】

- ◆ システム標準化 統一仕様書に基づくシステム更新時に合わせた対応、それに向けた業務工程のBPR・デジタル化
- ◆ 手続オンライン化 R7FY末までに、現在オンライン化未対応手続きの70%をスマート化（手続件数ベース）
- ◆ AI・RPA等 業務自動化・省力化・デジタル化の手段として対応。前提として「デジタル化」
- ◆ Dx人材育成 外部人材活用とともに、職員のデジタルリテラシー底上げ・スペシャリスト育成、内製化の推進

Dx推進の課題

1. 職員のDx意識涵養 デジタルリテラシー、変化へのポジティブな意識、圧倒的当事者意識
2. 市民のデジタルリテラシー 区役所の圧倒的クライアントである「高齢者」、地域におけるインフラ整備
3. 職員のデジタル環境 クラウド化の加速、庁内デジタルインフラに対する必要な投資、官民連携に向けたインフラ・制度整備
4. Dx人材確保 優秀な人材が東京に集中する中で地方都市における人材確保、官民交流促進
5. 制度改正・財源確保 政省令・実施要綱での様式・押印指定、標準化に対する財源確保